



スクールソーシャルワーカーだより

こと ほりかわしげとし

47

自己中心的な子への対応 の巻

『こどものメンタルは4タイプ』より

おとなの間違いやすい対応4タイプ

飯山暁朗さん

- ① 「**なんで出来ないんだ!**」 : 子どもの失敗を強く攻撃すると、その反動でカッとなり、やる気も失う。特に同じ失敗をされてもイライラせず、自分自身の怒りをしずめる必要がある。失敗を叱らず、取り組む中での良い所、出来た所を認めた上で、「こうしたら上手くいく」とアドバイスする、大人の対応をすると良い。
- ② **放置する** : 好調な時、調子に乗って周りを見ない傾向がある。自分の考えで突き進み、失敗しやすく、周りの反感を買いやすくなる。調子が良いからと「放置」してはいけない。思い込みで突き進んでしまわないよう、気づかせると良い。周りの人に目を向けるよう、思いやりを持って声をかければ、失敗も少なくなる。
- ③ 「**いい感じ**」などの抽象的なほめ言葉 : 「その調子」「いい感じ」と抽象的なことを言っても伝わらない。かえって調子に乗って、周りが見えなくなる。自己中の子は「地位や名誉」にこだわり、競争意識も持っている。「挨拶が一番」など、本人が見落としていた良い部分に着目して、長所をはっきり、正確に、具体的にほめて気付かせると、本物の自信につながる。
- ④ **あれもこれもチャレンジさせる** : 最も苦手なのは、物事を同時進行すること。コツコツやるのが苦手。細かい所に目が届かず、他のことがおろそかになる。あれこれチャレンジさせず、一つずつ、着実にクリアさせることが大事。「今大事なことは？」と聞いて、優先順位をつけさせ、「最初はこれ。できたら次はこれ」と、「一つずつやり遂げまくる姿勢」を身につけさせることが重要。子どものうちから「選択と集中」ができるかどうかはその後の成長につながる。

最後に、こうまとめました。

「大事なのは、その子に寄り添った声掛け。自分の考えを押しつけるのではなく、その子としっかり向き合い、その子にあった声掛けをすること。大人の声かけ一つで、子どもたちは将来に向けて、前向きに進むことができる。」



他人の考えをいつの間にか、自分流に変えています。少しでも参考になれば幸いです。

やっぱり 向き合うことが一番!